

今週の

いきもの広場

① ナメクジのなかまの卵



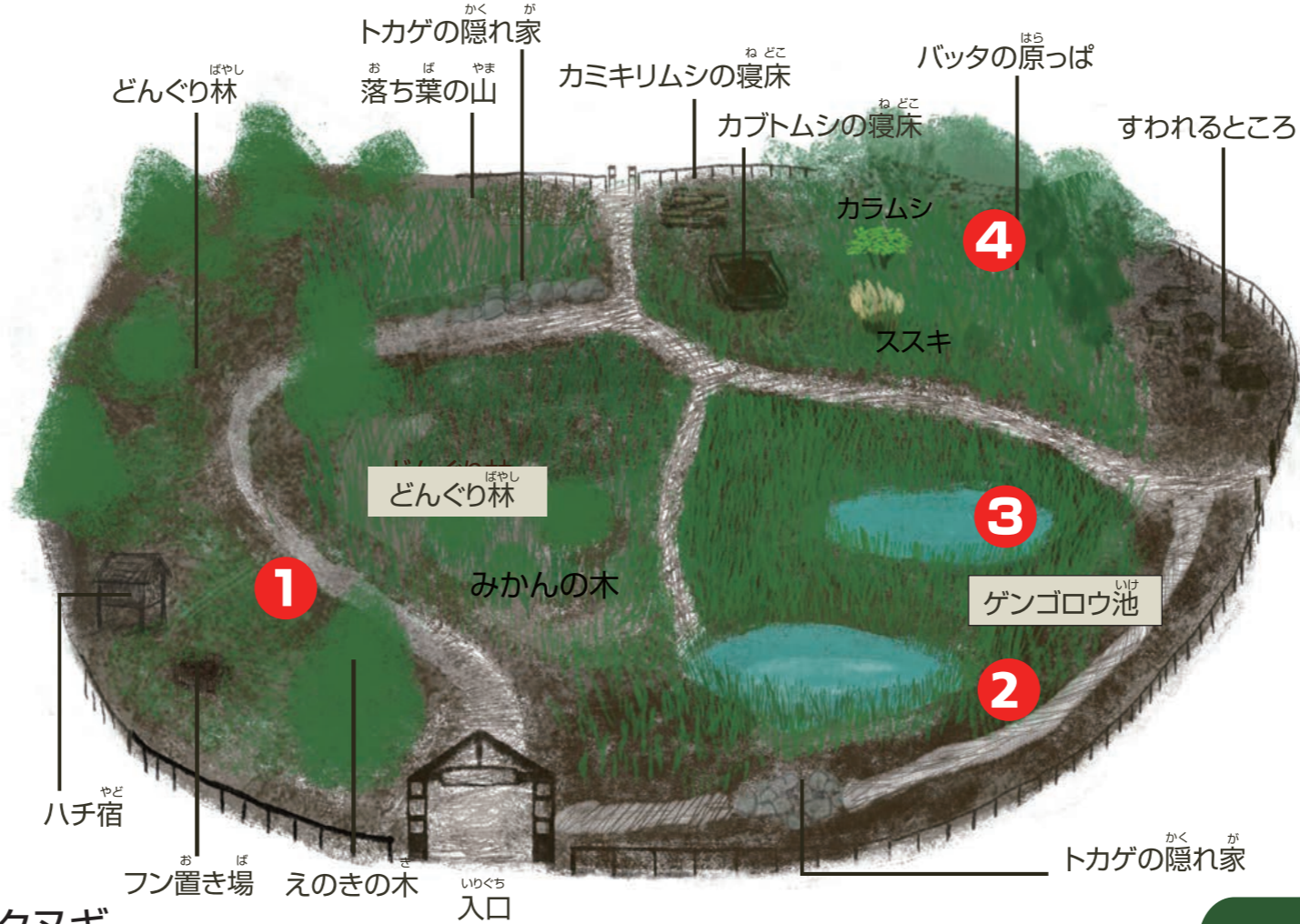
観察ボードと土の間に卵がありました。ナメクジの卵は、湿気が多く人の目につきにくい場所にあることが多いので、意外と見つけるのが難しいです。一度の産卵で20～60個ほどの卵を産むと言われています。

② クヌギカメムシの卵



観察シートにはクヌギカメムシの卵がありました。卵がゼリー状の物質で覆われているのが特徴的で、寒い冬に孵化する幼虫の成長に必要な栄養が含まれています。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。桜のつぼみも膨らみはじめ、春の訪れを感じるようになりました。いきものたちも少しずつ動き始めます。



③ ヒキガエルの卵



深い池の方に産んでいました。カモがきて食べてしまうので、浅い池にうつして網をはり、卵が孵るのを見守ります。

④ カブトムシの幼虫



落ち葉を集めた腐葉土のあたりで土を掘り返してみると、たくさんの幼虫が見つかります。この時点で個体差はありますが、8～10cmほどあります。そして幼虫のまま冬を越し、夏に立派な成虫になります。

冬のいきもの広場

11月～3月まで冬季の活動に伴い、毎月第2日曜日のみの活動となります。

11月～3月の活動日

11月 11日	12月 9日
1月 13日	2月 10日
3月 10日	